

平成30年度サポート寄附金（ふるさと納税）の活用報告

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額
1	子育て・福祉・医療・健康	公立保育園環境整備事業	公立保育園は老朽化が進み、園児に対して危険が及ぶ可能性がある箇所がある。保護者が安心して児童を通わせることができるためにも、危険箇所の修繕が必要である。 また、遊具等の部品も老朽化が進み、修繕または買い替えが必要である。	1,131,160	1,100,000
2		子ども医療費助成事業	小学校1年生から中学校3年生までの児童の保険適用医療費の自己負担分のうち1割分を助成する。父母の市民税所得割額の合計が136,700円以下という所得制限がある。	18,364,466	5,000,000
3		福祉医療事業（単市事業分）	県制度の乳幼児医療費助成及びひとり親家庭医療費助成に上乗せして医療費助成を行う。 両制度共通：利用者の一部負担分（3歳以上は通院1,000円/月、入院2,000円/月）を助成 乳幼児医療費制度：所得制限（市民税所得割136,700円超）を撤廃し、すべての乳幼児を医療費助成の対象とする。	36,193,302	5,000,000
4		地域医療整備支援事業（准看護学院運営費の補助事業追加）	市内医療機関における看護師不足を補うために、准看護師を養成している厚狭郡医師会に対し准看護学院の運営費を補助しているが、運営が厳しいため追加で補助する。	590,000	500,000
5		健康マイレージ事業	市民が検診受診や健康づくりへの参加によりポイントを貯める。35ポイントで特典カードを交付し、割引等サービスを受けてもらう。	151,200	100,000
6		児童館環境整備事業	老朽化している児童館について、規模の大きい修繕を年次的に行う。また、児童館周辺にある樹木が年数が経過し大きくなりすぎているため、建物及び周辺に危険が及びかねない状況である。については、それらの樹木を伐開し安全に児童等の受け入れができる環境を確保する。	767,880	767,880
7	市民生活・地域づくり・環境・防災	中学生海外派遣事業	親善大使として中学生を姉妹都市モートンベイ市へ派遣し、両市の友好親善と相互理解を深めるとともに、広い視野と国際感覚を備えた次代を担う人材の育成を図る。	3,012,669	2,000,000
8		自主防災組織等育成事業	自主防災組織の活動を活発かつ継続的なものにするため、防災資機材や訓練に要した経費の補助を行う。	856,500	856,500
9	都市基盤	JR厚狭駅周辺環境対策事業	厚狭駅周辺において、住民の生活をより快適にし、まちの活性化にも寄与するために、騒音対策を行う。また、暗くて利用しにくい道路の環境整備を行う。	290,520	290,520
10		街路樹剪定事業（追加分）	道路の通行及び沿線住民の生活に支障のないよう、枝葉の伸びが早い街路樹を毎年剪定する予定路線の不足分 県道4路線（妻崎開作小野田線、小野田美東線、小野田停車場線、小野田港線） 市道7路線（日の出町船越線、旭町後湯線、栄町六十番線、中川六十番通り線、新沖線、大学通り線、住吉若沖線）	13,578,696	1,000,000
11	産業・観光	子育て女性等就職応援事業（再就職実践研修）	結婚、出産等による離職から再就職を希望する女性を対象に、就業再開するために必要な知識、技能を習得できる機会を提供し、地元事業所に就業できるように支援する。また、託児サービスの提供など、子育て女性に配慮し、本事業に参加しやすい環境を整備する。事業については、委託事業者を決定し、実施する。	2,500,000	2,500,000
12		創業支援事業（個別相談会、支援セミナー等実施事業）	平成28年4月に策定した「山陽小野田市創業支援事業計画」に基づき、創業を希望する方への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、創業セミナー等を実施する。また、創業された方に対しても、フォロー体制を整え、事業経営をブラッシュアップする。商工会議所への委託事業とし、実施事業は市の創業支援事業計画に基づく「特定創業支援事業」と位置づける。	994,400	994,400
13		観光パンフレット等作成事業	観光パンフレットを改訂・増刷、手さげ袋やノベルティグッズ等を作成することにより、観光情報の発信強化を図る。	1,000,000	1,000,000

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	
14	教育・文化・スポーツ	山陽小野田市「かがく博覧会」開催事業	山口東京理科大学との包括的連携協定に基づき、科学の祭典として、多数の来場者を見込める市内の大型ショッピングセンターで、2日間開催する。市内の4つの高校、山口東京理科大学、6社程度の企業がブースを出展するほか、市内の小・中学生が作成した科学作品を展示し、優秀作品を表彰する。本事業は、『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の「未来を担う子どもたちを育む教育環境の充実」を実現するための施策である。	484,355	484,355	
15		小・中学校扇風機設置事業	文部科学省が発行した「学校環境衛生管理マニュアル」には、教室等の温度は人間の生理的な負担を考えると夏は30℃以下であることが望ましいとある。全小中学校の普通教室で夏休み前後の7月と9月の始業時と給食時、終業時に計測した温度のいずれかが30℃を超えていた日は、全体の約33%あった。熱中症を予防し、授業中の暑さを少しでもやわらげるため、小・中学校の全普通教室に扇風機を年次的に配備する。	1,628,942	1,628,942	
16		小学校遊具補修・更新事業	遊具は体育の授業や休憩時間の遊びに使われ、子どもたちの日々の学校生活に欠かせない設備となっている。事故を防ぎ、安全に使用することができるよう、補修を行い、また、老朽化により、補修では対応できない遊具は更新する。体育の授業で使用する遊具が未設置の学校については新設する。	1,270,080	1,000,000	
17		学校和式トイレ洋式化事業	家庭トイレの洋式化に伴い、和式トイレの使用に慣れていない子どもたちや足を負傷した子どもたちのためにトイレの洋式化を図っていく。各校舎等の各階ごとに男女1ヶ所ずつ改修していき、最終目標として50%の洋式化を目指す。	1,302,480	1,302,480	
18		「旧小野田セメント製造株式会社堅窯」補修補助事業	明治16年の会社創業時に建造された。平成12～15年度の大規模な補修後10年が経過し、撥水剤の効力が無くなったため、煉瓦の表面が崩れるなど劣化が進んでいる。汚れや煉瓦の剥がれ落ちそうな部分を除去、洗浄した後、撥水剤を塗布する。工事主体は所有者であるが、市文化財保存修理補助金交付要綱に基づき事業費の一部を補助する。（事業費の内1/4は所有者負担、1/2は県が補助、残り1/4を市が補助。）	416,000	400,000	
19		新刊図書等購入事業	近年、少子高齢化、高度情報化などが急速に進む中で、地域課題の増加や市民の学習意欲に対応した図書館資料の充実が求められているが十分な対応ができていない。このため、各分野の新刊図書や最新情報が入手できる雑誌等を拡充し、地域の情報拠点として整備する。	10,293,653	3,200,000	
20		レノファ山口とのパートナーシップ事業	スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成のため、山口県唯一のプロスポーツチームであるレノファ山口を活用し、選手による小学生とのスポーツ交流事業などを実施する。選手やスタッフ等と市民が交流する場を作ることで、市民の一体感の醸成、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進する。	600,000	600,000	
21		「現代ガラス展」開催事業	故竹内傳治氏の遺志を受け、2001年に第1回「現代ガラス展inおのだ」を開催した。これを継承し、2004、2006、2009、2012、2015年と開催は6回を数え、「ガラスのまち山陽小野田」の象徴的なイベントとなった。また、若手作家の登竜門コンペとして確固たる地位も築いた。今後もガラス展を継承し、ガラス文化の推進を図る。第7回は平成30年度開催を予定。（3年毎開催）	3,840,738	3,840,738	
22		生涯スポーツ推進事業 (小学生職人NO1決定大会開催事業)	市内体育施設で、小学生を対象に様々な大会を開催し、市内NO1を決定する。併せて、トッププレイヤーを招聘し、交流イベントを開催する。H27: サッカーPK大会、以降バスケットボールフリースロー大会、軟式野球バッティング大会、卓球スマッシュ大会、カローリングスロー大会、玉入れ大会、自転車板渡り大会等	102,232	100,000	
23		施設備品整備事業	体育施設の多くに備品の損傷・老朽化が見受けられる。それらが、危険を伴うこともあり、各種団体からの要望も年々強くなっている。それらを損傷とうを発見し予算化されるまで時間がかかるため、当初から予算化し備品の改善に早急に対応しようとするもの。	590,220	590,220	
24		英語教育推進事業	A L T (外国語指導助手) 2名を小・中学校に派遣し、教員と連携した授業を実施して英語教育の充実を図っている。平成30年度から、小学校5・6年生の「外国語活動」が「外国語」に教科化され、3・4年生で「外国語活動」が始まる。については、これまでの取り組みを後退させないよう、A L T を2名体制から3名体制とする。	8,306,570	7,200,000	
25		キャンプ誘致推進補助事業	山陽オートレース場でのパラサイクリング日本ナショナルチームの合宿誘致とともに、選手の講演や市民交流などを積極的に推進するため、「キャンプ誘致推進事業補助金交付要綱」を設置しキャンプ経費の一部を補助する。また、国が進める「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」に取り組み、パラサイクリングの支援のみならず、山陽オートの利活用、障害者スポーツの理解促進、スポーツ機運の醸成を図る。	1,500,000	1,500,000	
					42,956,035	
					寄附金充当額合計	

## サポート寄附(ふるさと納税)活用事業の様子



8 自主防災組織等育成



14 山陽小野田市「かがく博覧会」開催



16 小学校遊具補修・更新



18 「旧小野田セメント製造株式会社竪窯」補修補助



24 英語教育推進



25 キャンプ誘致推進補助事業